

オゾン属のレジオネラ菌対策

独自システムを拡販

バイオフィルム洗浄剤など 2製品組み合わせ

カルファケミカル

カルファケミカル(本社・横浜市)は、温浴施設のレジオネラ菌対策に向けて独自開発した「CALFA NISSシステム」の販売を強化す

る。月1回、レジオネラ菌の温床となるバイオフィルムを分解除去する洗浄剤と、毎日投入してレジオネラ菌対策を行う殺菌剤の2つを組み合わせたシステムとなつて

いる。バイオフィルムの分解成分には酵素を用い、殺菌剤は耐性菌が生きにくい構造にしている。人体や環境への安全性が高く、特別な資格がなくても扱える。

菌の温床となるバイオフィルムを分解除去する洗浄剤「CALFA NAC(カルファナック)」は、天然物から抽出したたん白質分解酵素を配合、循環設備内に付着したバイオフィルムを分解する。発生した泡がキャリアとなつて、バイオフィルムと微生物を浮き立たせて水中に流しだす。成分が細部まで行きわたって徹底的に除去する。カルファナックの洗浄剤「CALFA SAP(カルファサップ)」は、発生した泡をさらに細かいクリーム状の泡に変化させ洗浄効果を高める。漂白剤としての能力も高い。



「CALFA NAC」(右)と「CALFA SAP」

毎日投入してレジオネラ菌対策を行う殺菌剤「CALFA SPAC(カルファスパック)」は、臭素と塩素を用いヒタントイン構造にしている。さらに酵素を配合することで耐性菌を一層発生させにくくした。この殺菌剤を「暗号化殺菌」として商標登録している。同殺菌剤は、アルカリ温泉や、窒素濃度が高い温浴でも効果を発揮する。管理は、従来の塩素剤と同様に遊離塩素計で測定可能。固型で、ヘアキャッチャーに簡単に投入できる。

スポーツクラブや老人ホームなど8斗未満の温浴施設向けに「1斗浴槽用パック」も昨年より市場投入し販売実績を伸ばしている。